

平成25年度 大学院人文科学府修士課程第1期入学試験問題
(言語学)

問1の解答は1枚目の解答用紙、問2は2枚目の解答用紙、問3は3枚目の解答用紙、問4は4枚目の解答用紙に書くこと。その際、問2-1などと記し、どの問に対する解答かを明示すること。

問1.

下に示すデータは、ある言語の名詞と、それに指小辞 (diminutive) が付いた形の音声表記である。指小辞形態素の交替について一般化しなさい。

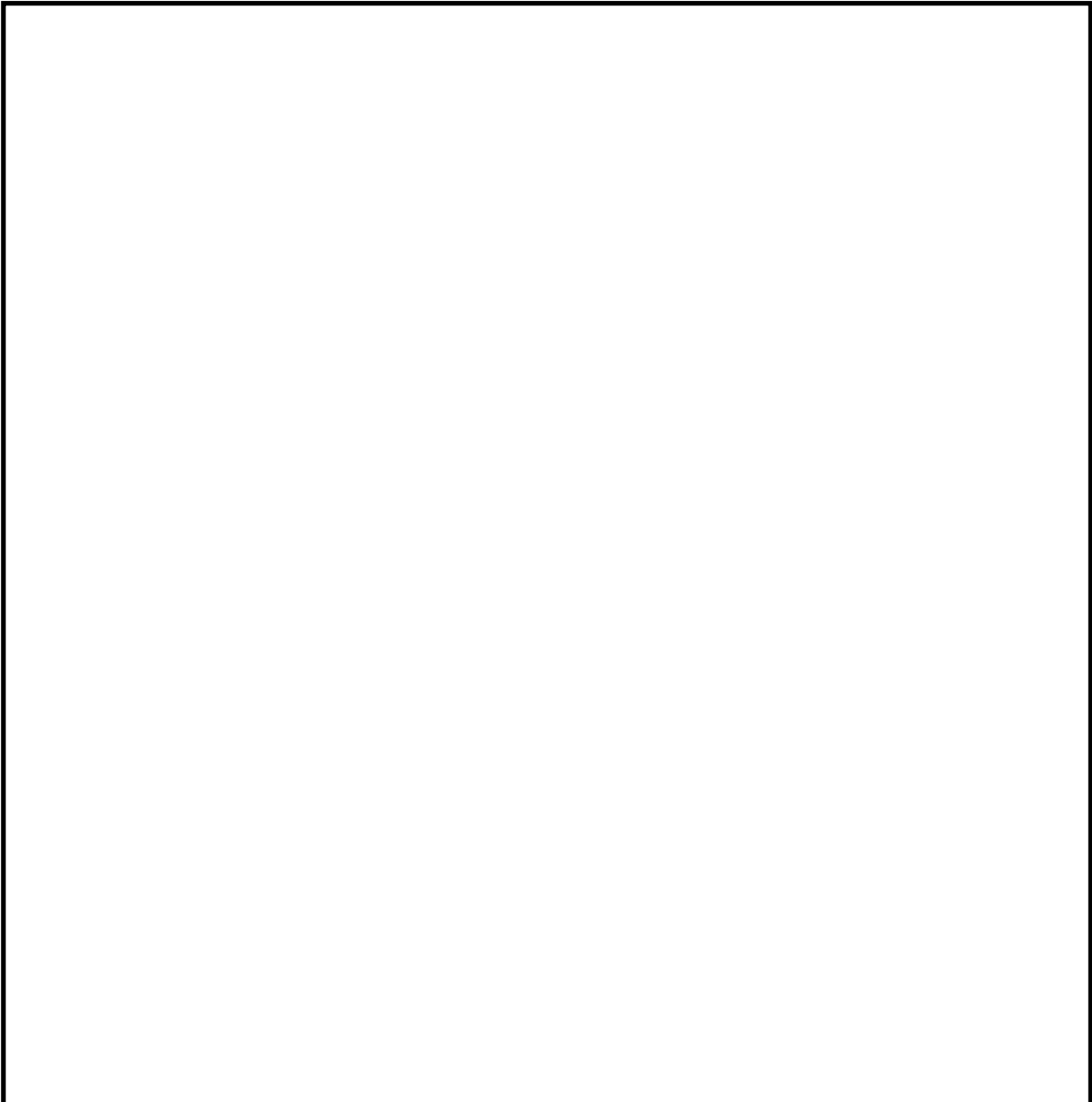
	noun		noun+diminutive
a.	[bɛl]	‘bell’	[bɛlətjə]
b.	[œyl]	‘owl’	[œyltjə]
c.	[nɛk]	‘neck’	[nɛkjə]
d.	[kam]	‘comb’	[kamətjə]
e.	[prœym]	‘plum’	[prœympjə]
f.	[ha:rɪŋ]	‘herring’	[ha:rɪŋkjə]
g.	[œy]	‘onion’	[œytjə]
h.	[man]	‘man’	[manətjə]
i.	[prœyk]	‘wig’	[prœykJə]
j.	[rɪŋ]	‘ring’	[rɪŋətjə]
k.	[lap]	‘cloth’	[lapjə]
l.	[kat]	‘cat’	[katjə]
m.	[be:r]	‘bear’	[be:rtjə]
n.	[das]	‘necktie’	[dasjə]
o.	[kɪf]	‘quarrel’	[kɪfjə]
p.	[bo:n]	‘bean’	[bo:ntjə]
q.	[bryx]	‘bridge’	[bryxjə]
r.	[nar]	‘fool’	[narətjə]

問2.

次の文章を読み、以下の4つの設問に答えなさい。

著作権保護のため、この Web 公開版では問題文を削除した。
引用箇所は以下のとおりである。

Putnam, Hilary (1970) Is Semantics Possible? in Kiefer, H. E. and M. K. Munitz (eds.) *Language, Belief, and Metaphysics*. University of New York Press: New York. pp. 50-63. reprinted in Stephen P. Schwartz (ed.) (1977) *Naming Necessity, and Natural Kinds*. Cornell University Press: Ithaca and London. pp. 102-118.



問 2 - 1 .

下線部(a)を訳しなさい。

問 2 - 2 .

下線部(b)を訳し、なぜそうなのか、本文に即して説明しなさい。

問 2 - 3 .

下線部(c)を訳し、なぜそうなのか、本文に即して説明しなさい。

問 2 - 4 .

下線部(d)を訳し、なぜそうなのか、本文に即して説明しなさい。

問3.

次の日本語の文はどのような構造をしていると考えますか。「正解」となる樹形図が1つに決まっているわけではないので、自分の分析にしたがって樹形図を書きなさい。また、その分析で仮定されていることの中で、異論がありそうな点について、自分が採用した分析の理由・根拠を述べなさい。

今晚はあまりたくさん食べないでくださいね。

問4.

以下の用語の中から5つを選び、簡潔に説明しなさい。

- 1) clitic
- 2) garden-path sentence
- 3) implicational universal
- 4) island constraints
- 5) overgeneralization
- 6) palatalization
- 7) pidgin
- 8) speech act
- 9) synchrony
- 10) truth condition